



住江織物株式会社

# 2011年5月期 第2四半期決算概況

住江織物株式会社は  
日本のインテリアのパイオニアメーカーとして

健康 環境 リサイクル アメニティ  
**KKR+A**

健康・環境・リサイクル+快適な  
居住空間を創造します



1	表紙
2	目次
3	2011年5月期第2四半期(10/6~10/11)連結業績
5	連結業績の事業セグメント別内訳
6	インテリア事業
7	自動車・車両内装事業
9	機能資材事業
10	連結B/S 連結C/F
11	連結業績の推移
12	2011年5月期見通し
14	株主配当について
15	中期経営計画“Challenge 2012”について
20	自動車内装事業のグローバル戦略を加速
23	スミノエ「ディズニー シリーズ」新発売のお知らせ
24	NHKの経済番組「ルソンの壺」で紹介されました

## ●Profit and loss statement

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比		期初計画	期初計画比	
			(%)	(増減額)		(%)	(増減額)
売上高	37,112	34,184	8.6%	2,927	37,000	0.3%	112
営業利益	827	769	7.5%	57	800	3.4%	27
営業利益率	2.2%	2.3%			2.2%		
経常利益	1,071	746	43.6%	325	940	14.0%	131
経常利益率	2.9%	2.2%			2.5%		
当期純利益	426	322	32.0%	103	510	△16.4%	△83
当期純利益率	1.1%	0.9%			1.4%		

連結売上高は**371**億12百万円

(前年同期比29億27百万円増、期初計画比1億12百万円増)

連結営業利益は**8**億27百万円

(前年同期比57百万円増、期初計画比27百万円増)

## ■連結売上高および営業利益

企業業績の持ち直しと製造業を中心とした民間設備投資の増加により、日本経済が緩やかに回復するなか、当期よりスタートした中期経営計画“Challenge 2012”の基本方針のもと、各事業で積極的に緒施策に取り組んだ結果、連結売上高、営業利益ともに、前年同期実績および期初計画をクリアした。

## ■連結経常利益

持分法による投資利益が大幅に改善し、31百万円(前年同期△82百万円)となり、経常利益は前年同期比3億25百万円増の10億71百万円となった。

## ■連結当期純利益

投資有価証券の評価損が1億10百万円発生したことなどにより、当期純利益は前年同期比1億3百万円増の4億26百万円となった。

# 連結業績の事業セグメント別内訳 (単位:百万円)

## ●Segment information

	当第2四半期	組替後			前年同期実績
		前年同期	前年同期比(%)	前年同期比(額)	
連結売上高	インテリア	16,178	15,983	1.2%	195
	自動車・車両内装	18,734	15,723	19.2%	3,011
	機能資材	2,124	2,381	-10.8%	△257
	その他	74	96	-22.9%	△22
	セグメント合計	37,112	34,184	8.6%	2,928
					前年同期実績
					15,882
					15,723
					—
					2,579
					34,184

※当期よりセグメント区分を変更しております。組替後前年同期は、前年実績を当期セグメント区分に合わせて修正したものですので、正式な実績ではありません。当資料は参考数値としてご覧下さい。

	当第2四半期	組替後			前年同期実績
		前年同期	前年同期比(%)	前年同期比(額)	
営業利益	インテリア	281	350	-19.7%	△69
	自動車・車両内装	1,008	930	8.4%	78
	機能資材	87	97	-10.3%	△10
	その他	25	46	-45.7%	△21
	調整額	△575	△654	-	79
	セグメント合計	827	769	7.5%	58
					前年同期実績
					382
					914
					—
					190
					△718
					769

コア商品であるカーペットを中心にカーテン、壁紙等を販売

連結売上高 **161** 億78百万円

(組替後前年同期 159億83百万円)

連結営業利益 **2** 億81百万円

(組替後前年同期 3億50百万円)



ザ・キャピタルホテル 東急  
大宴会場「鳳凰」特注カーペット

■前年同期比1億95百万円増収、69百万円減益

(オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペット)

リサイクルタイルカーペット「SG-300」、「SG-400」をはじめとした環境にやさしい商品が販売数量を伸ばし健闘したものの、新築、リニューアル工事が減少したため低調となった。

(一般家庭向けカーペット、ラグマット)

消費マインドの冷え込みに加え、長引く猛暑の影響により、ともに売上高は前年同期を下回った。

(カーテン)

7月に発表した新作「mode S(モードエス)VOL.5」が堅調に推移し、コントラクトカーテン「Face Vol.16+(プラス)」が医療・福祉・教育施設で受注を増やしたことから、前年同期を上回った。

(壁紙)

消臭性能を向上させた「空気を洗う壁紙®+プラスケア」を7月に、デザインを重視した「不燃認定壁紙1000 Vol.7」を10月に発売し、好調な売れ行きとなったが、売上高は前年同期をわずかに下回った。

フロアカーペット、シート表皮材、天井表皮材等、自動車内装材をトータルで販売

車両内装分野を合わせた連結業績

連結売上高 **187** 億34百万円

(組替後前年同期 157億23百万円)

連結営業利益 **10** 億8百万円

(組替後前年同期 9億30万円)



スズキ スイフト  
シート表皮材

■前年同期比30億11百万円増収、78百万円増益

(国内)

エコカー補助金制度の終了に伴い、自動車販売台数の減少が見られたが、当社の自動車向けカーペット事業と、シート表皮材事業のスミノエ テイジン テクノ株式会社は、売上高および営業利益ともに堅調に推移した。また、前期第3四半期から連結子会社となった帝人テクロス、尾張整染の2社が売上高、利益面ともに寄与した。

(海外)

米国子会社STAの売上高が前年同期を上回り、営業利益も順調に改善したが、中国では、SPMが売上高、営業利益ともに好調だった前年同期を下回った。

## 鉄道・バスにシート表皮材やカーペット、 リサイクル性に優れたシートクッション材「スミキューブ®」等を販売

新車向けの内装材需要は堅調だったものの、リニューアル需要は鉄道各社の安全対策費の増加の影響などから低迷した。バス向けは、第1四半期は排ガス規制前の駆け込み需要があったが、第2四半期ならびに6ヶ月累計ではその反動によって売上高が減少した。



三重県バス協会 注意喚起表示フィルム(非塩ビ オレフィン系フィルム)



ホットカーペット事業、タイルカーペット輸出事業と  
独自消臭加工技術によるフィルター事業を展開

連結売上高 **21** 億24百万円

(組替後前年同期 23億81百万円)

連結営業利益 **87** 百万円

(組替後前年同期 97百万円)

■前年同期比2億57百万円減収、10百万円減益

ホットカーペット事業は、残暑の影響により生産総量が減少するなか、市場シェアは拡大したものの、売上高は前年同期を下回った。タイルカーペットのOEM事業は、国内売上高が減少したが、海外向けは数量・売上高とも大幅に増加したため、前年同期並みとった。



Tispaシリーズ 脱臭・消臭剤  
「香りでごまかさない 本当の消臭」

Balance sheet	当第2四半期	前年同期
<b>総資産</b>	<b>73,995</b>	68,607
現預金	7,241	5,848
売上債権	20,858	19,061
たな卸資産	9,771	9,571
その他の流動資産	2,976	2,987
有・無形固定資産	25,465	22,899
投資その他の資産	7,681	8,239
<b>総負債</b>	<b>45,959</b>	43,683
仕入債務	16,295	15,487
短期借入金および一年以内償還社債	9,830	9,900
その他流動負債	3,455	2,808
長期借入金・社債	5,671	5,985
その他固定負債	10,706	9,502
<b>純資産</b>	<b>28,035</b>	24,923
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	6,851	5,524
自己株式	<b>△327</b>	<b>△325</b>
有価証券評価差額金	285	311
土地再評価差額金	7,184	7,184
その他評価・換算差額	<b>△656</b>	<b>△397</b>
少数株主持分	2,491	420

【たな卸資産】

前第3四半期より帝人テクロスと尾張整染が連結子会社となったことにより約7億円増加したが、グループ全体では圧縮が進み、前年同期比で約2億円増の9億71百万円となった(当期首比では約3億円減)。

【有形・無形固定資産】

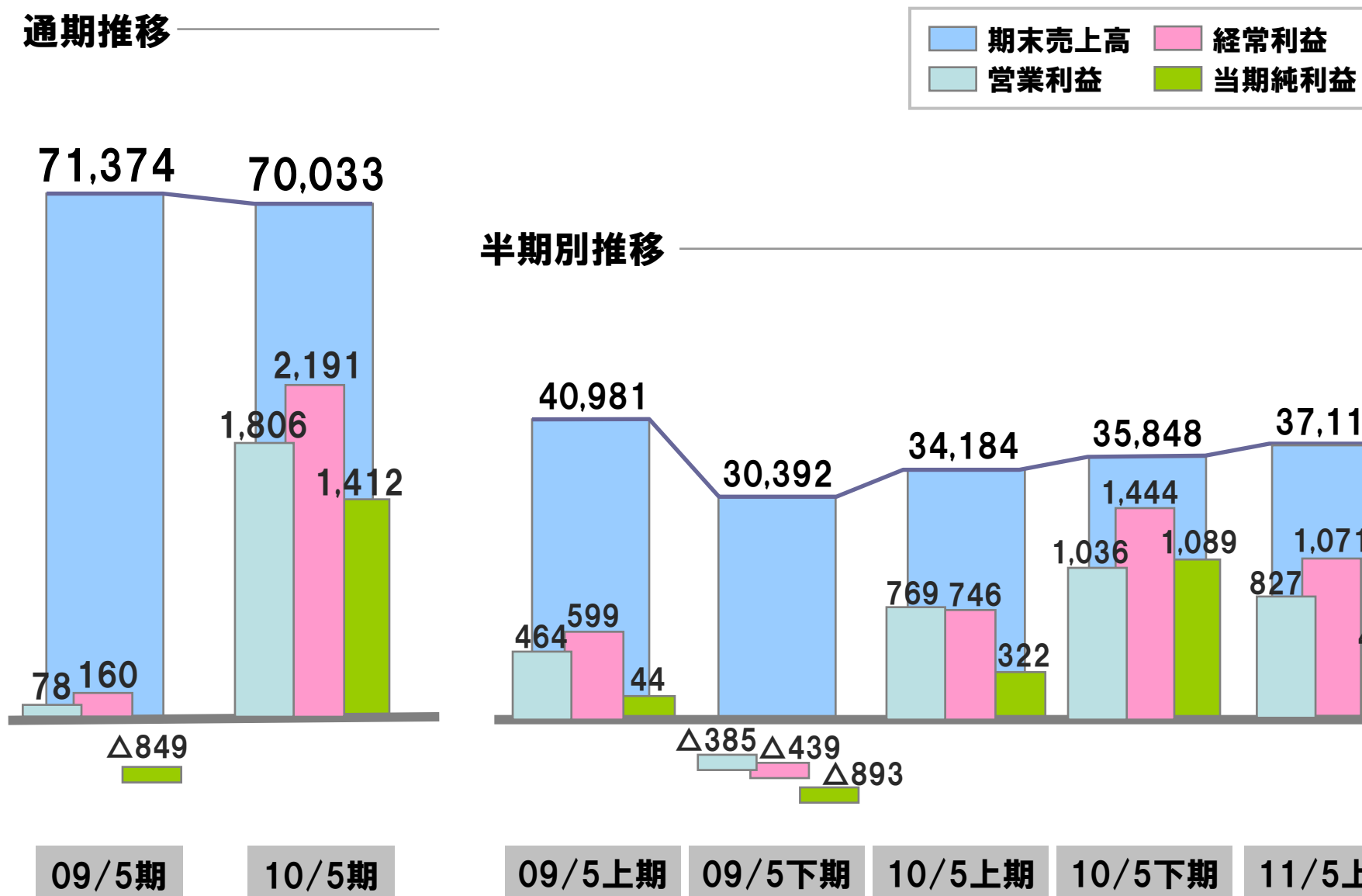
帝人テクロス、尾張整染分の約26億円が増加した。

【キャッシュ・フロー】

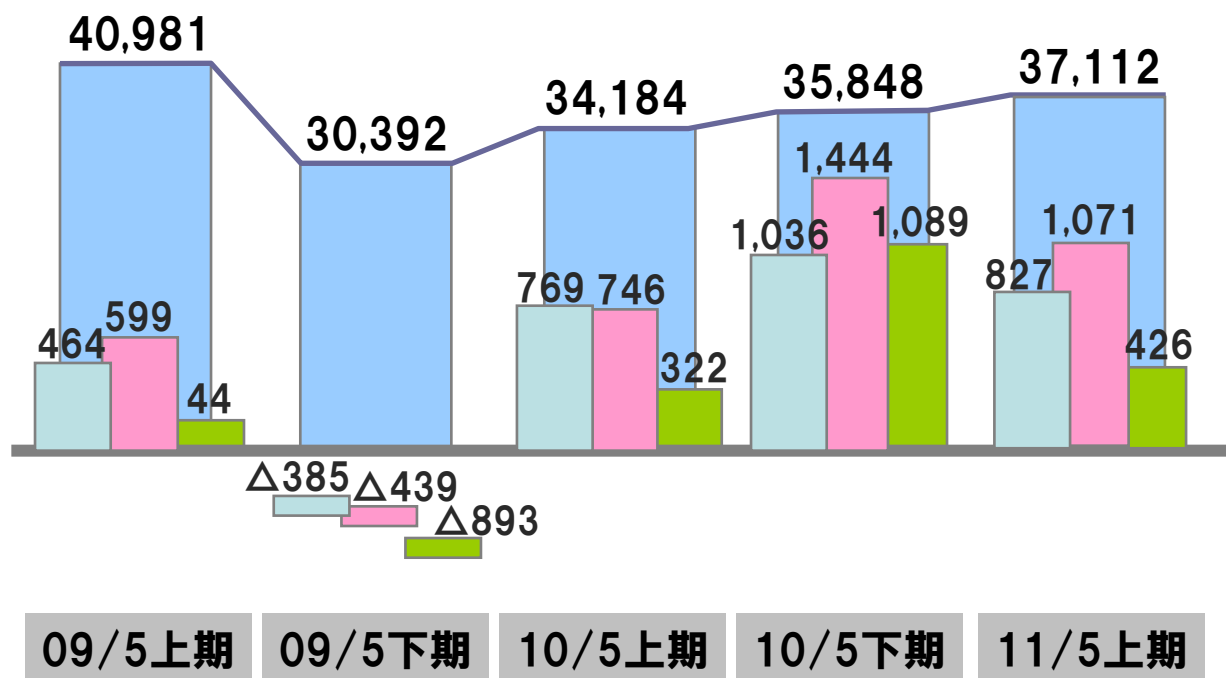
営業活動によるキャッシュフローが大幅に改善した。当第2四半期に借入金を約10億円返済したため、財務活動によるキャッシュフローが△14億73百万円となった。

Statement of cash flows	当第2四半期	前年同期
営業活動によるC/F	<b>591</b>	<b>△506</b>
投資活動によるC/F	<b>△570</b>	<b>△234</b>
財務活動によるC/F	<b>△1,473</b>	<b>△141</b>
換算レート変動の影響	<b>△90</b>	<b>△18</b>
期中の増減額	<b>△1,542</b>	<b>△901</b>
期首の現金残高	<b>8,564</b>	6,529
期末の現金残高	<b>7,021</b>	5,628

## 通期推移



## 半期別推移



連結期末見通し

各事業で増減はあるものの、  
全社合計では期初計画から変更無し

売上高 **740** 億円

営業利益 **18.5** 億円

経常利益 **21.5** 億円

当期純利益 **13.5** 億円

	当期見通し	前期	組替後		前期実績	
			前期比 (%)	前期比 (額)		
売上高	インテリア	33,000	32,760	0.7%	240	32,553
	自動車・車両内装	37,300	33,567	11.1%	3,733	33,166
	機能資材	3,580	3,538	1.2%	42	—
	その他	120	167	△28.1%	△47	4,312
	セグメント合計	74,000	70,033	5.7%	3,967	70,033

	当期見通し	前期	組替後		前期実績	
			前期比 (%)	前期比 (額)		
営業利益	インテリア	810	1,006	△19.5%	△196	1,039
	自動車・車両内装	2,250	1,967	14.4%	283	2,093
	機能資材	20	17	17.6%	3	—
	その他	40	97	△58.8%	△57	122
	調整額	△1,270	△1,282	—	12	△1,450
	セグメント合計	1,850	1,806	2.4%	44	1,806

### ■2011年5月期見通し

#### (国内)

米国と欧州各国の景気が停滞し、国内でも円高進行が輸出産業に影響を与え、デフレから脱しきれない先行き不透明な状況のなか、インテリア事業では引き続き需要が縮小し、自動車・車両内装事業でもエコカー補助金制度が終了した影響から需要減が予想され、下期は売上高の伸長が鈍化するも、上期の増収分もあり、当期は前期実績を上回る見込み。

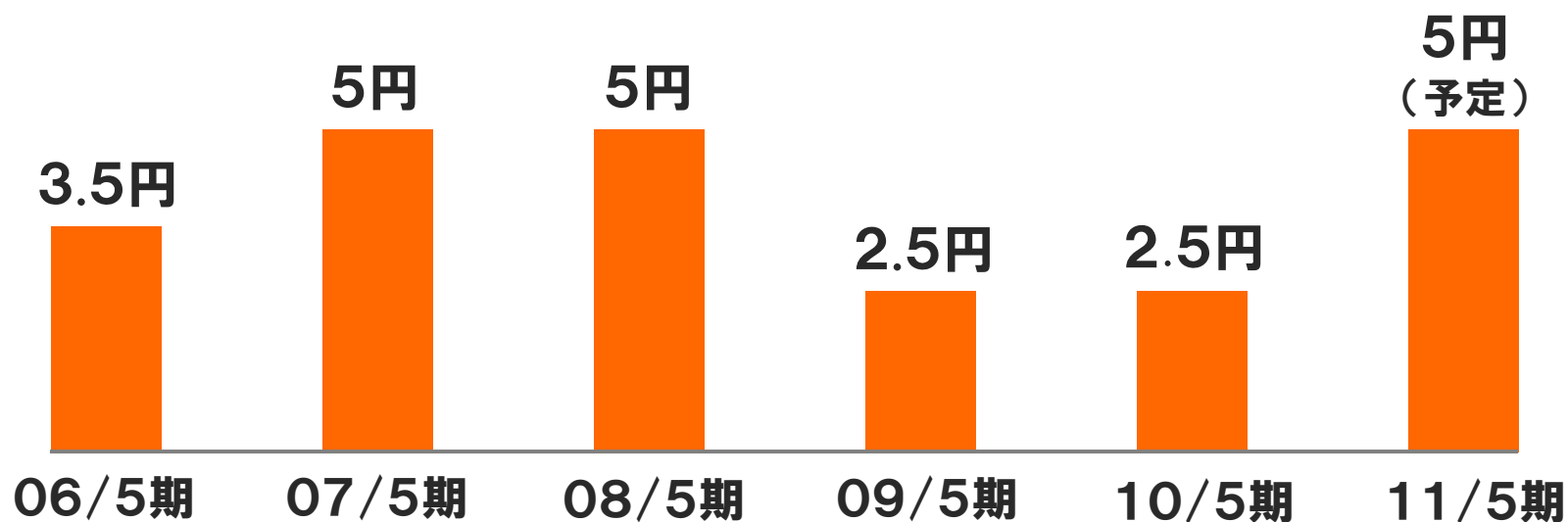
#### (海外)

米国STAは、シート表皮材事業が復調し、収支改善が見込まれる。中国では、SPMが売上高、利益面ともに上期を上回り改善する見込み。また、連結子会社化した中国の蘇州住江小出汽車用品有限公司とタイのTCHスミノエの業績が加算される。

## ■2011年5月期について

2011年5月期は、中間、期末ともに2円50銭、年間5円の配当を予定しております。

## ■配当額の推移



## 基本テーマ

### 収益体質の強化

- マーケットイン視点によるブランド商品や機能性商品を拡充し、マーケットのシェアアップを図り、収益力を高める
- 各事業の市場環境に合った売上高と利益を追求し、磐石な収益基盤を構築する

### グローバル戦略

- 自動車内装事業を中心に海外市場での販売を強化し、グローバル経営を推進する

*“Challenge 2012”*

## 連結数値目標

### 3カ年の目標

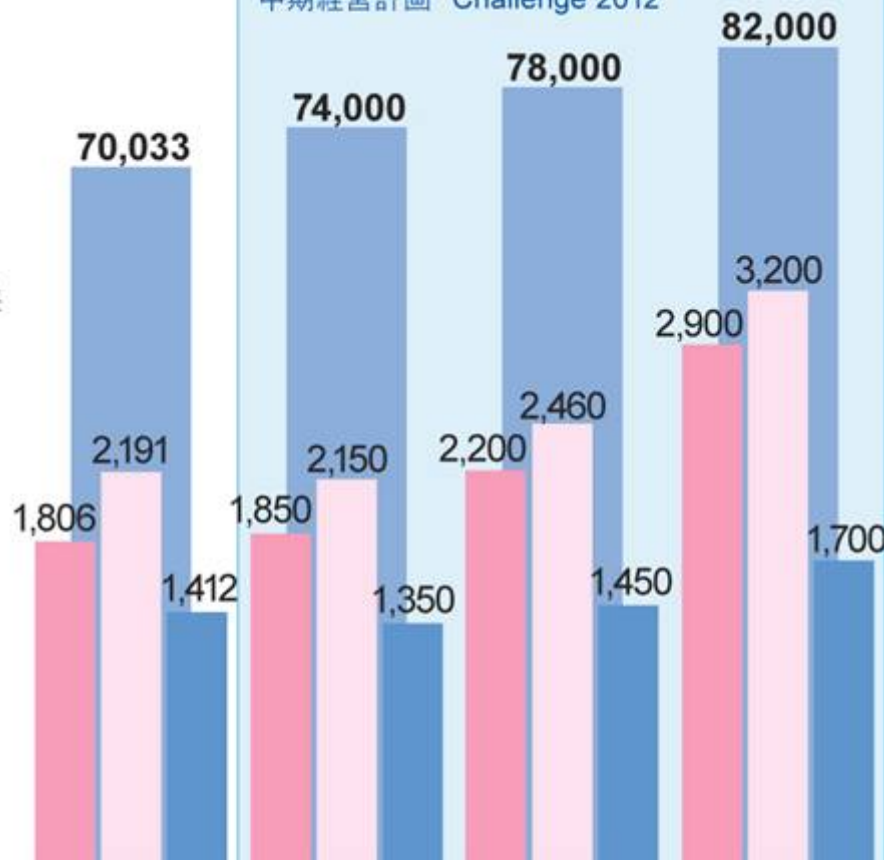
- 売上高は年5%以上の成長
- 営業利益率3.5%以上

### 中長期の目標

- 営業利益率5%以上
- ROE(自己資本  
当期純利益率)7%以上
- ROA(総資産  
経常利益率)5%以上



中期経営計画 “Challenge 2012”



	2010年 5月期実績	2011年 5月期計画	2012年 5月期計画	2013年 5月期計画
ROE(自己資本当期純利益率)	5.6%	5.1%	5.3%	5.9%
ROA(総資産経常利益率)	3.1%	2.9%	3.2%	4.0%



## インテリア事業

- 市場の縮小が続き、競争が激化するなか、当社が得意とする環境にやさしい商品等の付加価値商品の販売を強化し、**収益力をアップする**

		中期経営計画 “Challenge 2012”		
	10年5月 期実績	11年5月期 見通し	12年5月期 計画	12年5月期 計画
売上高	32,760	33,000	34,200	35,000
営業利益	1,006	810	1,070	1,120



独自の消臭加工技術トリプルフレッシュ®を施したラグ



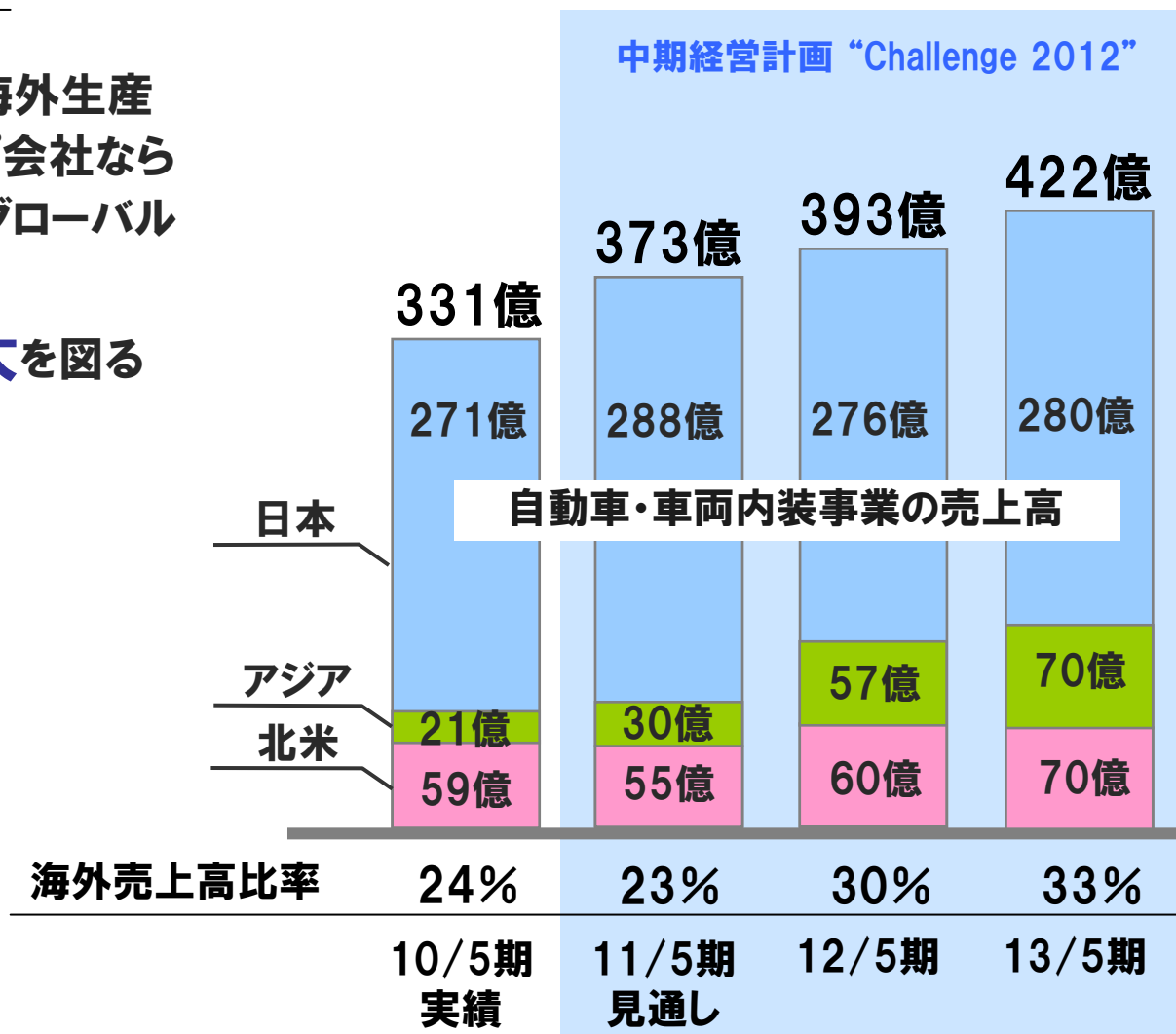
エコロジータイルカーペット「SG-300」、「SG-400」

ペットボトルからリサイクルしたポリエステル長繊維「スミロン®」を使い、CO2排出量を19%削減

※みずほ情報総研のLCA分析による算出結果

## 自動車・車両内装事業

- 日系自動車メーカーの海外生産シフトに対応し、グループ会社ならびにアライアンスによるグローバル供給体制を構築し、**海外売上高の拡大**を図る



## 機能性資材事業

- **ホットカーペット事業とタイルカーペットの輸出事業を強化し、安定的な収益基盤を構築する**
- **独自の消臭加工技術「トリプルフレッシュ®」フィルターの販路を拡大し、事業として確立する**



トリプルフレッシュバイオ®フィルターを使った  
「香りでごまかさない 本当の消臭」

## 中国とインドに新会社を設立

自動車産業の成長著しい中国、インドに新会社を設立し、販売の強化とアジア圏での業容拡大を目指します。

### 中国新会社の概要

社名	住江織物商貿(上海)有限公司
営業開始日	2010年10月1日
本店所在地	中華人民共和国上海市
資本金	US50万ドル
出資割合	当社100%出資
業務内容	自動車・車両内装材および部品の企画開発・製造管理・卸売業・輸出業務

### インド新会社の概要

社名	スミノエ テイジン テクノ クリシュナ インディア プライベート リミテッド SUMINOE TEIJIN TECHNO KRISHNA INDIA PVT.LTD.
営業開始日	2010年10月1日
本店所在地	インド共和国ニューデリー
資本金	3,750万インドルピー
出資割合	スミノエ テイジン テクノ株式会社74%、 インド クリシュナグループ26%
業務内容	自動車内装材のインド市場での販売

## タイ・中国の関連会社を子会社化

1994年、自動車内装材の製造・販売会社として合併で設立したタイのT.C.H.Suminoe Co., Ltd.と、2003年にカーマツ等の自動車用品の製造・販売会社として合併で設立した中国の蘇州住江小出汽車用品有限公司を連結子会社といたしました。今後、当事業のより機動的な経営とグループの連携強化を図ってまいります。

### タイ子会社の概要

社名	T.C.H.Suminoe Co., Ltd.
所在地	タイ王国アユタヤ県バンパイン郡
資本金	2億5千万バーツ
出資割合	当社50.1%出資
業務内容	自動車内装材の企画開発、製造、および販売

### 中国子会社の概要

社名	蘇州住江小出汽車用品有限公司
所在地	中華人民共和国江蘇省蘇州市
資本金	2,483千元
出資割合	当社53%出資
業務内容	カーマツ等の自動車用品の製造および販売

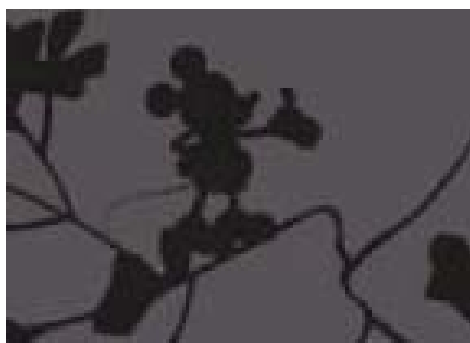
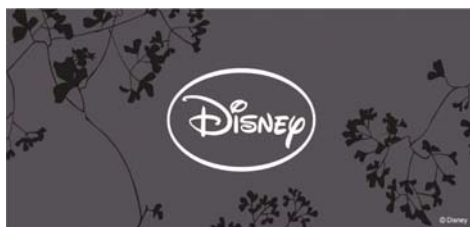
## 自動車・車両内装事業のグローバル体制

自動車内装材の世界最適供給体制を一層強化し、世界での**市場シェアの拡大**を目指してまいります。



ミッキーマウス、バンビ、アリスなど世界的な人気キャラクターを持つ、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社と契約し、カーテン・ラグ・マット・クッションなどのインテリアファブリックスを2011年4月から発売いたします。

「おしゃれを楽しみたい大人のためのディズニースタイル」をテーマに、洗練された今までにない、大人のためのディズニーシリーズを提案してまいります。



ミッキーマウスの  
シルエット



～住江織物アーカイブ～  
当社が50年前に発売した  
「デズニーマット(バンビ柄)」  
1961年の新商品

当社創業の起源である手織緞通や鉄道用椅子張地のモケットをはじめ、カーペットの大衆化のきっかけとなったタフテッドカーペット、ペットボトルリサイクル繊維「スミロン®」など幅広く取材を受け、130年の歴史に培われた当社ならではの技術と強みがクローズアップされました。

ビジネス新伝説ルソンの壺 2010年12月5日(日)放送(関西全域) 12月11日(土)  
(鳥取・香川・徳島)



上田早苗アナウンサー、  
ロバート・キャンベル氏（東京大学教授）



当社史料室保管の  
国会議事堂の赤絨毯サンプル